

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	総合的な学習の時間推進事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	10	01	04	02	53
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	指導課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	濱崎 祐子				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内小中学校23校	意図	子どもたち一人ひとりが、各教科等の学習で得た個々の知識を結び付け、総合的に働かせることができるようにする。
事業内容	総合的な学習の時間の充実整備のため、教材等の費用を支援する。			
事業開始から現在までの状況変化	「総合的な学習の時間」は平成14年度から小中学校で全面実施となり、13年目となる。この時間は、それぞれの地域や学校、子どもたちの実態に応じた学校の創意工夫を生かした活動が展開されている。新学習指導要領においても、その理念が引き継がれ、各校独自の具体的な取り組みが求められている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	市内小中学校学級数	317	320	330	学級	→→	学級数×2950円
②								
③								
④								
指標で表すことができない定性的な成果	各学校の具体的な取り組みを支援し、総合的な学習の時間の充実を図ることができた。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・子どもたち一人ひとりが、自ら学び、自ら考える力を育成することができている。 ・各教科等の学習で得た個々の知識を結び付け、総合的に働かせることができ、学び方や調べ方を身に付けることができている。			
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		981,525	1,033,680	973,258				
事業費(b)(円)		981,525	1,033,680	973,258				
うち一般財源		981,525	1,033,680	973,258				
職員給与費(c)(円)								
人役・職員(人)								
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	各学校の具体的な取り組みを支援し、一人ひとりの子どもたちの成長を図る。	③取り組みの課題	総合的な学習の時間の充実整備のため、教材等の費用の支援を、より充実させる必要がある。
②今年度(H26)に実施した取り組み	総合的な学習の時間の充実整備のため、教材等の費用を支援した。	④今後の改善計画	予算の範囲内で各学校の取り組みへの支援を引き続き行うとともに、教材等の精選を行っていく。